

HIV 感染症治療薬共同使用成績調査
「2021 年報告書 追補版」 正誤表

検定結果と説明文章に齟齬がありましたので下記の通り訂正致します。

訂正箇所	訂正前	訂正後
9 ページ HRD共同調査生存率 治療開始時 CD4 数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率 (調査期間:1997 年 8 月から 2021 年 3 月)	治療開始時の CD4 数 500 前後において群間に有意な差を認めなくなっているが、 観察期間後期では、打ち切り(転院等による追跡不能例、生存しているが調査終了により追跡ができない例など)により 各群の症例数が少なくなったこと等が要因として考えられる。	削除
10 ページ HRD共同調査生存率 治療開始時 CD4 数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率 (2001 年 3 月以前に治療開始した症例)	治療開始時の CD4 数 500 前後において群間に有意な差を認めなくなっているが、 観察期間後期では、打ち切り(転院等による追跡不能例、生存しているが調査終了により追跡ができない例など)により 各群の症例数が少なくなったこと等が要因として考えられる。	削除
10 ページ HRD共同調査生存率 治療開始時 CD4 数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率 (2001 年 4 月から 2010 年 3 月に治療開始した症例)	治療開始時の CD4 数 500 前後において群間に有意な差を認めなくなっているが、 観察期間後期では、打ち切り(転院等による追跡不能例、生存しているが調査終了により追跡ができない例など)により 各群の症例数が少なくなったこと等が要因として考えられる。	削除
10 ページ HRD共同調査生存率 治療開始時 CD4 数で層別した場合のカプランマイヤー法による生存率 (2010 年 4 月以降に治療開始した症例)	治療開始時の CD4 数 500 前後において群間に有意な差を認めなくなっているが、 観察期間後期では、打ち切り(転院等による追跡不能例、生存しているが調査終了により追跡ができない例など)により 各群の症例数が少なくなったこと等が要因として考えられる。	削除